

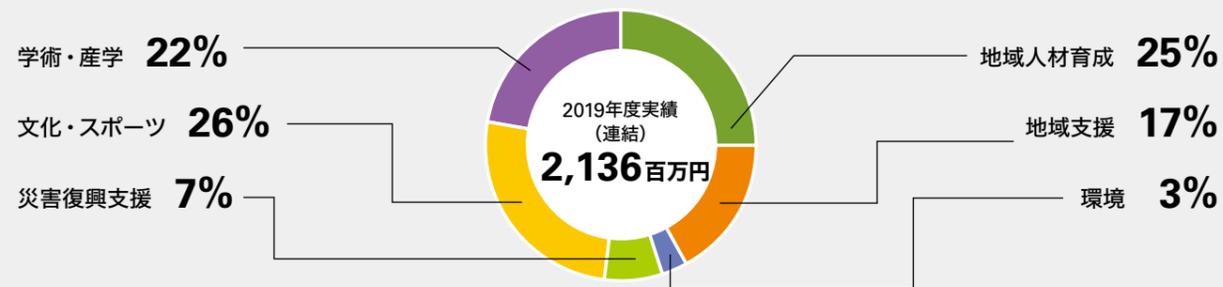
# 社会とともに発展するー社会貢献活動ー

コマツは、事業を行う地域への「社会貢献活動」も企業の責任の一つと考えています。

当社では「CSR重点3分野に沿った活動のうち、直接的な収益を目的としないもの」に取り組むべき社会貢献活動と位置づけ、本業の強みを活かした社会還元に取り組んでいます。

## 2019年度 社会貢献活動実績

コマツの社会貢献活動を、一般的な6つのカテゴリーに分類して集計した結果は以下のとおりです。



### 社会貢献活動実績(形態別)

| 形態                | 金額       |
|-------------------|----------|
| 金銭支援              | 707百万円   |
| 社員の派遣など (時間を金額換算) | 316百万円   |
| 自社施設の地域開放など       | 314百万円   |
| イベント開催などの経費       | 797百万円   |
| 合計                | 2,136百万円 |

## 地雷除去に続き農業支援プロジェクトを開始

コマツは2008年から認定特定非営利活動法人「日本地雷処理を支援する会(JMAS)」と提携し、カンボジア等で対人地雷の被害に苦しむ地域において、地雷除去とその跡地に道路や学校を建設する復興事業を支援してきました。2020年1月よりJMASとの新たな取り組みとして、カンボジアにおいてICTブルドーザー、ホイールローダー、油圧ショベルを活用した農業支援活動を開始しました。稲作においては予め土地の凹凸を無くし、平らに均す(均平化

する)ことで生産量の増加が見込まれます。ブレードの自動制御機能を備える農業用ICTブルドーザーで直播稲作地を可能な限り均平化し、コメの生産性を向上させたり、近年需要が増加しているキャッサバ等の作物の生産や収穫に農業用ホイールローダーを導入することなどを想定しており、現地のニーズを聴きながら復興支援の新たなステップとして建機による農業への貢献にチャレンジしていきます。



## 新型コロナウイルス感染症蔓延に対する社会支援活動

### 協力企業(コマツみどり会)との協業により医療用品を生産・寄贈

世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延は、健康や生命への直接的な被害はもとより、経済や金融、医療インフラなどに甚大な影響をもたらしています。

日本では新型コロナウイルス感染症罹患者の増加に伴い、医療器材の不足が深刻な課題となっています。

コマツには、直接、医療器材を生産する設備や技能はないものの、長年にわたるビジネスパートナーとの協業関係や、生産・販売のネットワークといった資産があります。それらを活用し、特に緊急性の高い医療用個人防護のうちアイソレーションガウン(防護服)とフェイスシールドの調達・寄贈を行いました。

調達にあたっては、コマツみどり会加盟企業のネットワークにより新規生産に挑戦いただくことになりました。コマツもフェイスシールドの試作段階で、生産技術スタッフが部品強度や生産性、装着性の改善に参画しました。

試作品の防護機能や着用感を医療専門家にご確認いただいたうえ、ガウン10,100着、シールド8,000枚が完成。それらを、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンや行政を通じ、全国の医療機関に無償配布しました。また、社員募金も行い、この無償配布に充当しました。

ご紹介した日本でのアイソレーションガウン・フェイスシールドの寄贈以外に、世界各地でもそれぞれの国のニーズに合わせて、会社と社員が共同で次のような支援活動を行っています。



寄贈先の国立病院機構 大阪医療センターの皆さん



調達先の「人のつながり」を通じ、長野県の縫製専門学校からも賛同の声が寄せられました。みどり会のフィルターメーカーから無償提供いただいた素材をもとに、先生や生徒の皆さんが手作りした防護服100着は、地域の医療機関に寄贈されています。

| 国・地域 | 代表的な活動内容  |
|------|---|
| 米国   | ●総額35万ドル相当の寄付<br>【内訳】 ●従業員との共同寄付25万ドル(食糧支援団体Feeding America向け)<br>●地域社会へ10万ドル |
| チリ   | ●散水車による道路の消毒作業支援(官民連携)  |
| インド  | ●総額1千ドル相当の寄付(国や州の福祉基金および建機オペレーター技能教育支援)                                       |
| 欧州   | ●欧州グループ各社より総額10万ユーロ相当の寄付(地域ニーズに応じた医療・食糧関係等、複数団体への支援)                          |
| 日本   | ●医療用マスク(N95)10万枚を備蓄品より赤十字社・行政・自治体・医療機関等に寄贈                                    |

## コマツにとってかけがえのない存在ー協力企業

メーカーにとって、材料や部品、コンポーネントなどのサプライヤーである協力企業は、製品の品質と信頼性を支える重要なパートナーです。コマツでは特にその関係性を重視しており、長い歴史のなかで、モノの調達だけでなく、経営や人材育成などの側面からも、ともに考え、支え合いながら歩んできました。

日本国内の主要協力企業「コマツみどり会」には156社が加盟し、その供給量は日本国内の購買品の約8割に達しています。総会、経営者懇談会などの会議には、みどり会各社の代表とコマツのトップが出席し、方針や課題の共有を図っています。中国では「小松山推緑会」、欧州および北米でも「Midori-kai」を設立し、アジア地域の協力企業連合会と合わせると海外の総加盟協力企業は140社を超えました。

TOPICS